

2019年8月30日

防衛省中国四国防衛局局長 森田 治男 様

むつみ演習場周辺の水・環境に関わる地元住民一同
7団体91名 発起人 大田 一久
イージス・アショア配備計画の撤回を求める住民の会
代表 森上 雅昭

申し入れ

8月28日、防衛省は『再説明にむけた今後の準備作業等について（イージス・アショアの配備関係）』を発表し、森田治男中国四国防衛局長が山口県・萩市・阿武町を訪問した。

これらによると、昨年10月からの適地調査のデータを公表しないままで、再調査と再説明の方針がうかがえる。

これは、住民と自治体による科学的検証作業をさせないという「データ隠し」であり、看過できない。

よって、以下のように申し入れ、その説明を求める。

1. 2019年5月28日の、山口県・萩市・阿武町説明資料『イージス・アショアの配備について』にみられる、防衛省の検討結果の根拠となるデータについて、直ちに公表することを求める。
特に、羽月の名水等の地下水に係るデータについては、住民説明会の場でも公表が確認されている案件であり、公表を求める。
2. 公表できないならば、なぜ公表できないのかの説明を求める。
3. 防衛省として再調査する旨の意向と予定が伝えられているが、住民にはこれについての説明が行われていない。
再調査の理由と目的、内容、時期、結果の公表等について、住民への早急な説明を求める。

4. 陸上自衛隊むつみ演習場周辺の湧水池ならびに溜池には、今日でも、強い降水時には濁水が流入している。
これについての対応は別に求めるが、再調査ならびに本格的工事に際しては、どのような措置を講じる予定なのか、詳細な説明を求める。
5. 北朝鮮によって7月～8月にかけて発射されている新型ミサイルに対して、イージス・アショアはどのように対応できるのか、具体的な説明を求める。
6. 7月27日の住民の会主催の学術シンポジウムにおいて、専門家から以下のように、『防衛省の検討結果』の問題点が出されている。これに対する返答を求める。
- ① 36 ページの「むつみ演習場周辺の地下水流動経路図」（イメージ）などに関して、東台の地下水の流れを合理的に説明するためには地下の地質構造図と根拠を示すべきである。
 - ② 33 ページの「断面図イメージ」などに関して、示された図から「配備工事そのものが地下水に影響を与えることはありません」との根拠が理解できない。イメージ図ではなく、実際のボーリング調査によるデータ（柱状図）を示すべきである。断面図に地下水位の位置を示すべきである。建物の基礎を支えることができる堅固な地盤の深度はどのようにして決めたのか、堅固な地盤のN値について説明を求める。
 - ③ 34 ページなどの「各種調査の結果：地質・測量調査、水文調査」に関して、使用したデータは具体的にはどこどのようなデータを使ったのか、公表されてはいない。すべてのデータが開示されるべきである。
86 ページからの「防衛省の検討結果：周辺の水環境への影響を防ぐための措置」に関して、イメージ図の羅列ばかりであるが、イメージ図ではなく、実際の配置図を示すことを求める。
45 ページの「各種調査の結果：施設配置の検討」「むつみ配置案4」には、周辺の水環境への影響を防ぐための配置図が記入されていないことに、周辺住民を犠牲にして、配備を優先する防衛省の姿勢が如実に出ている。配備計画は絶対に認められない。
7. 次回申し入れを、9月24日（火）に設定する。

以上